

令和2年度研究結果

シマグワ果実の有効利用に関する研究

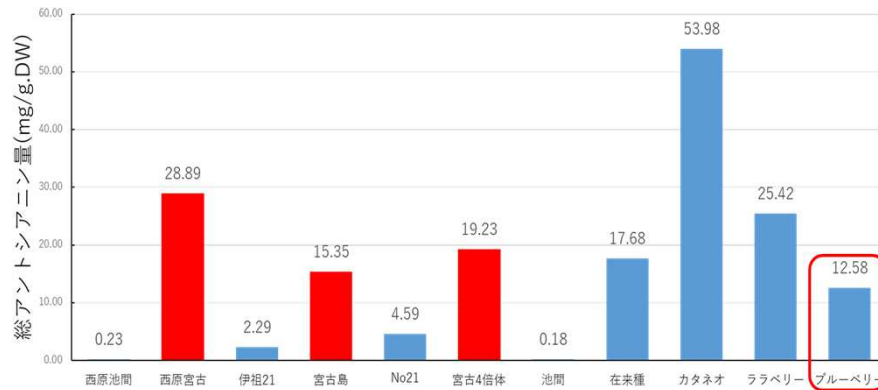


図1 県産シマグワ果実中の総アントシアニン量

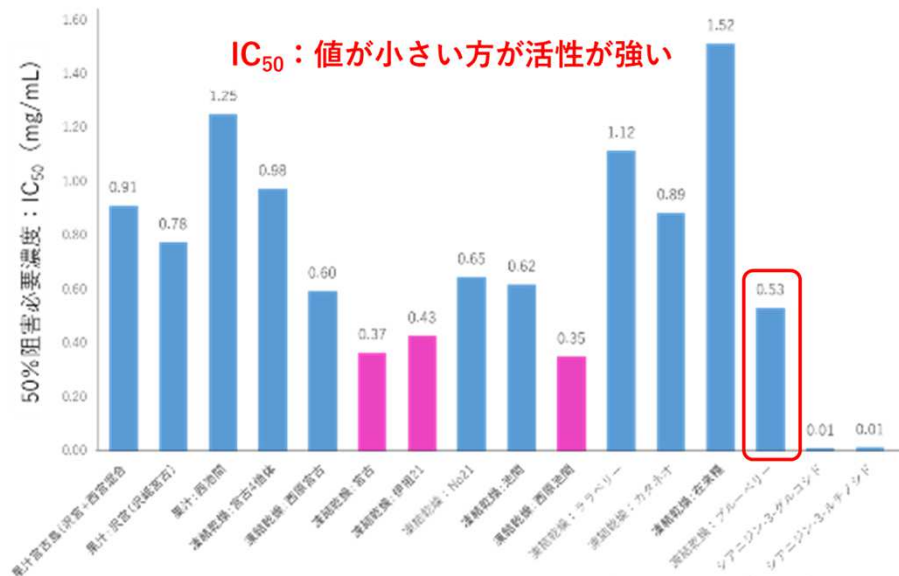


図2 県産シマグワ果実中のタンパク質糖化反応抑制活性

【目的】

県産シマグワ果実の有効利用を目的に、シマグワ果実のアントシアニンや機能性、乾燥法に関する研究を行った。

【結果（抜粋）】

・図1に示すように、一部のシマグワ果実(赤)中の総アントシアニン量はブルーベリーより多く、その主成分はシアニン-3-グルコシドとシアニン-3-ルチノシドであることが分かった。

・一部のシマグワ果実(紫)にはブルーベリーよりも、抗老化(アンチエイジング)に関連するタンパク質の糖化を抑制する活性があることを試験管レベルで見出した(図2)。